

# ネイチャーウォーク

平成 年 月号  
200 . . 発行  
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

## カッコウの快談

### 山里を訪ねて～ユガテ～

(西武池袋線 東吾野駅 ～ 同駅)



東吾野駅に集合。出発時点では快晴でした。

快晴の空のもと、今回は9名の参加者が集まりました。急坂が多いと予告されていたからなのか、午後より雨の予報であったからだったからなのか、いつもよりはちょっと少なめの参加者数でした。

でも、熱気と元気はいつも通りに、たくさんのダジャレを飛ばしながら楽しく歩きました。



カラスアゲハ



シャクガの仲間。ユウマダラエダシャク。

道中で見つけたのがカラスアゲハの死体。どうやら車に轢かれていたようですが、それでも美しさは健在です。葉の上で休んでいるシャクガの仲間にも注目が集まりました。



ムカシトンボ。残念ながら脱皮失敗。

山道に入って見つけたのが、今からサナギから脱皮しようとするムカシトンボ。「生きている化石」とも言われるトンボです。近くで写真を撮ってもいっこうに動こうとせず、生きているのか、死んでいるのか、疑問のままとなりました。

部会後に当協会のトンボの専門家に尋ねたところ、羽化に失敗して死んでいるとのことでした。



アオダイショウの抜け殻



蹄の跡。近くには小さなあしあとも

また、アオダイショウの抜け殻も発見。ヘビの抜け殻といえはお金が貯まるお守り。何人か、ちぎって財布の中に入れていました。

この他にも道中では、イノシシらしき偶蹄類のあしあとや、サルのあしあとなども見つけられました。森に住む数々の動物たちに思いをはせながら山道を歩きます。



サンショウの葉



ガクウツギの香りを堪能。

道中では、サンショウやガクウツギのすばらしい香りも堪能しました。このほか、道ばたに生えている山菜のウワバミソウの食べ方の話で盛り上がりしました。





息を切らしつつ急坂を上ります。



ようやくユガテに到着。

沢を越え、急坂を越えて、息を切らし、汗をぬぐいつつ、ユガテに到着。さわやかな風がとても心地よかったですね。



飛脚道を下ります。



急坂を用心しながら下ります。

お昼ごはんの後は、古道飛脚道を下ります。昔の飛脚たちはこんな道を駆け上がったのだと思うと信じられないという驚きの声も挙がるほどの急坂の飛脚道を注意して下ります。途中で小雨が降ってきたこともあり、やや急ぎ気味に急坂を下りました。



関東大震災の記念碑。

急坂を下った先の福德寺には関東大震災の記念碑がありました。当たり前のことですが、埼玉も関東大震災の被災地であったのですね。参加者全員、3月の東日本大震災の被害に思いをはせつつ、福德寺を後にしました。

雨の神様も待ってくれたのかもしれませんが。

ゴールの東吾野駅は、ちょうど電車が来るところ。本降りの雨は、電車に乗ってからでした。ネイチャーウォークの間だけ、

みなさん、本当にお疲れ様でした。